

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月10日

上場会社名 日本開閉器工業株式会社
 コード番号 6943 URL <http://nikkai.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大橋 智成
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 市川 忠夫
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 JQ

TEL 044-813-8026

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	5,408	—	△191	—	△230	—	△273	—
20年3月期第3四半期	6,739	5.0	449	△29.5	507	△29.8	241	△36.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△33.17	—
20年3月期第3四半期	29.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
21年3月期第3四半期	12,301		10,022		81.5		1,216.25	
20年3月期	13,373		10,595		79.2		1,285.59	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 10,022百万円 20年3月期 10,592百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
21年3月期	—	4.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	9.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,696	△12.6	80	△83.4	125	△70.0	47	△66.9	5.70

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期 8,425,200株	20年3月期 8,425,200株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期 184,847株	20年3月期 183,756株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期 8,240,949株	20年3月期第3四半期 8,243,604株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間における世界経済は、米国サブプライムローン問題に端を発する金融市場の混乱が続き先行き不透明感がさらに強まっております。わが国においても、企業収益の悪化に伴う設備投資の抑制や物価上昇に伴う個人消費の低下などにより景気の低迷が続き、経営環境は一段と厳しさを増してまいりました。

こうした中、当第3四半期累計期間における当社の属する産業用スイッチ（操作用スイッチ）市場の出荷総額は前年同期比12.9%減と一段と厳しい状況が続いております。

当社グループは、一年を通しての新商品発表、大規模な販売キャンペーン、ホームページのリニューアル、中国第二工場の稼働等積極的な投資や、中期経営計画「Quantum Leap Advanced」に基づき、世界販売契約を締結したグローバルディストリビューターからの販売や、IS（多機能押ボタンスイッチ）やタッチパネルをはじめとする重点商品、また特注品販売に積極的に取り組んでまいりましたが、世界経済の厳しい環境の影響を受け、当第3四半期連結累計期間の売上高は54億8百万円、営業損失は1億9千1百万円、経常損失は2億3千万円、四半期純損失は2億7千3百万円となりました。

なお、所在地別セグメントの概況は次の通りであります。

(1) 日本

特注品売上高の拡大や、次世代ISである「有機ELディスプレイ カラーIS」など新商品の投入に注力いたしました。が、産業用スイッチ（操作用スイッチ）市場を含め引き続き国内市場が低調に推移したことにより、第3四半期連結累計期間の売上高は46億3千1百万円となりました。

(2) 米国

グローバルディストリビューターとの関係を強化し拡販に努めましたが、米国経済の急減速による設備投資の鈍化等の影響を受け、第3四半期連結累計期間の売上高は13億4千3百万円となりました。

(3) 中国

中国生産品も主要販売先である日本、米国などの景気低迷の影響を受け、第3四半期連結累計期間の売上高は10億2千2百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産

資産合計は123億1百万円（前連結会計年度末比10億7千1百万円の減少）となりました。

主な要因は、受取手形及び売掛金の減少（前連結会計年度末比4億6百万円の減少）、及び投資有価証券の減少（前連結会計年度末比3億1千万円の減少）によるものであります。

(2) 負債

負債合計は22億7千9百万円（前連結会計年度末比4億9千9百万円の減少）となりました。

主な要因は、支払手形及び買掛金の減少（前連結会計年度末比4億4千5百万円の減少）によるものであります。

(3) 純資産

純資産合計は100億2千2百万円（前連結会計年度末比5億7千2百万円の減少）となりました。

主な要因は、利益剰余金の減少（前連結会計年度末比3億5千2百万円の減少）、及び評価・換算差額等の減少（前連結会計年度末比2億1千7百万円の減少）によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年11月7日付にて公表した連結業績予想及び個別業績予想につきましては変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出にしましては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産につきましては、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定にしましては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定して算出する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、評価基準を低価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

③ 当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

当社は、減価償却資産の耐用年数等に関する平成20年度法人税法の改正を契機として、当第1四半期連結会計期間より、改正後の法人税法に基づく耐用年数を適用しております。これにより、従来の方法によった場合に比べて、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は、それぞれ11百万円増加しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,954,786	4,294,965
受取手形及び売掛金	1,254,795	1,661,170
商品及び製品	1,239,205	1,243,985
仕掛品	7,719	37,584
原材料及び貯蔵品	1,778,390	1,974,369
繰延税金資産	141,871	183,868
その他	165,311	83,674
貸倒引当金	2,544	3,079
流動資産合計	8,539,536	9,476,539
固定資産		
有形固定資産	2,042,473	2,172,903
無形固定資産		
のれん	23,560	20,538
その他	437,048	484,635
無形固定資産合計	460,608	505,174
投資その他の資産	1,259,168	1,219,144
固定資産合計	3,762,251	3,897,222
資産合計	12,301,788	13,373,762
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	897,271	1,342,571
短期借入金	-	46,621
未払法人税等	377	1,603
引当金	60,370	158,780
その他	467,665	429,456
流動負債合計	1,425,685	1,979,032
固定負債		
長期借入金	24,182	37,379
役員退職慰労引当金	483,756	464,890
退職給付引当金	162,903	132,368
その他	182,963	164,959
固定負債合計	853,806	799,598
負債合計	2,279,491	2,778,630

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	8,718,404	9,070,828
自己株式	156,565	155,942
株主資本合計	10,346,942	10,699,990
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	34,827	87,639
為替換算調整勘定	289,906	194,728
評価・換算差額等合計	324,733	107,088
少数株主持分	87	2,229
純資産合計	10,022,297	10,595,131
負債純資産合計	12,301,788	13,373,762

(2) 四半期連結損益計算書
 (第 3 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年12月31日)	
売上高	5,408,513
売上原価	3,282,323
売上総利益	2,126,190
販売費及び一般管理費	2,317,231
営業損失 ()	191,040
営業外収益	
受取配当金	16,674
受取賃貸料	17,577
その他	18,053
営業外収益合計	52,305
営業外費用	
支払利息	2,030
賃貸収入原価	1,892
為替差損	78,502
保険解約損	8,780
その他	620
営業外費用合計	91,825
経常損失 ()	230,561
特別利益	
貸倒引当金戻入額	493
投資有価証券売却益	347
受取和解金	16,865
その他	6
特別利益合計	17,712
特別損失	
固定資産処分損	18,153
投資有価証券評価損	85,137
特別損失合計	103,290
税金等調整前四半期純損失 ()	316,139
法人税、住民税及び事業税	5,229
法人税等還付税額	15,841
法人税等調整額	32,761
法人税等合計	43,373
少数株主利益	609
四半期純損失 ()	273,374

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

（1）（要約）四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	6,739,867
II 売上原価	3,874,271
売上総利益	2,865,596
III 販売費及び一般管理費	2,415,876
営業利益	449,719
IV 営業外収益	75,731
V 営業外費用	17,673
経常利益	507,777
VI 特別利益	30,618
VII 特別損失	61,274
税金等調整前四半期純利益	477,122
税金費用	240,717
少数株主損失(△)	△5,594
四半期純利益	241,999